

第6回 日向東臼杵広域連合次期広域最終処分場建設検討委員会 議事要旨

日時：令和 6 年 11 月 28 日（木） 14:30～16:30

場所：西郷ニューホープセンター（美郷町）

■ 出席者

- | | | |
|-------------|-------|-------------------|
| (1) 委員 | 土手 裕 | （宮崎大学工学部教授） |
| | 原田 隆典 | （宮崎大学工学部名誉教授） |
| | 後藤 充 | （美郷町区長会長） |
| | 道口 光一 | （美郷町花水流地区区長） |
| | 小野 圭一 | （美郷町花水流地区） |
| | 松本 恵喜 | （美郷町花水流地区） |
| | 小野 和久 | （美郷町小川地区） |
| (2) 事務局 | 奥原 孝雄 | （日向市 環境政策課 課長補佐） |
| | 小林 英彦 | （門川町 環境水道課 課長） |
| | 中田 芳樹 | （美郷町 町民生活課 主幹） |
| | 中原 雅則 | （諸塚村 住民福祉課 課長） |
| | 椎葉 洋介 | （椎葉村 税務住民課 課長） |
| | 黒木 真 | （広域連合 事務局長） |
| | 吉玉 賢司 | （広域連合 業務第 1 係長） |
| | 日高 昭洋 | （広域連合 業務第 2 係長） |
| | 黒木 俊介 | （広域連合 業務第 1 主任技師） |
| | 近藤 和房 | （広域連合 業務第 1 主任主事） |
| (3) コンサルタント | 平川 猛 | （株式会社建設技術研究所） |
| | 和田 崇史 | （株式会社建設技術研究所） |
| | 池田 勇太 | （株式会社建設技術研究所） |
| | 神谷 | （株式会社建設技術研究所） |

（以上、敬称略）

■ 内容

- 1 開会
- 2 あいさつ（委員長）
- 3 協 議（議事進行：委員長）
 - （1）前回委員会の確認
 - （2）地質調査結果（第1段階）について
 - （3）最終処分場施設計画について
 - （4）生活環境影響調査計画について
 - （5）今後のスケジュールについて
 - （6）その他
- 4 閉会

■ 配付資料

- 資料1：第5回建設検討委員会議事要旨
- 資料2：地質調査結果（第1段階）
- 資料3：最終処分場施設計画
- 資料4：生活環境影響調査 調査計画
- 資料5：今後のスケジュールについて
- 参考資料：日向地質調査結果

1. 開会

○配布資料の確認

2. あいさつ

○土手委員（委員長）より挨拶

3. 協議事項

(1) 前回委員会の確認

○事務局より【資料 1】に基づき説明。

委員 : 意見なし

(2) 地質調査結果（第 1 段階）について

○事務局より【資料 2】に基づき説明。

委員 : 地下水が 2 層になっていることで施設整備において課題が生じるのか。

事務局 : 地下水が 2 層構造になっていることによる課題はない。

委員 : 掘削により不安定化する箇所があるのか。

事務局 : 地すべり面の下部を掘削することにより不安定化の懸念がある。旧施設配置では調整池が位置しており、調整池の整備による不安定化する可能性があるため、調整池の配置を見直した。

委員 : 地すべり地形に対して対策は実施するのか。

事務局 : 地すべり地形の下部に盛土を行い、抑え盛土とする。

委員 : 町道側の尾根が崩れるのではないかと懸念を以前説明していたかと思われるが、新施設配置による影響はあるのか。

事務局 : 町道側の尾根は細いので、高い盛土を行うと尾根が不安定化する懸念がある。新施設配置においても町道側の尾根には高い盛土は実施しないため、影響はない。

委員 : 施設を配置する上で、地盤の強度は問題ないか。

事務局 : 現在実施している第 2 段階目の調査で強度等を確認する。

(3) 最終処分場施設計画について

○事務局より【資料 3】に基づき説明。

委員 : 新施設配置において埋立範囲に変更はあるのか。

事務局 : 埋立地の長辺を短くし、短辺を長くした。第 2 段階の地質調査結果により、基礎地盤の深さが明確になるため、その深さに合わせて多少の変更はあると考えている。

委員 : 最終処分場の敷地の変更並びに該当する地権者に変更はあるか。

- 事務局 : 敷地及び地権者に変更はない。
- 委員 : 地質調査の同意について、地元同意により得られているとしているが、地元不在の方もおられる。その方々に同意が得られていないのではないかな。
- 事務局 : 地権者に対して個々に承諾をいただいた。
- 委員 : 個々の地権者に同意を得ているのであれば、そのように記載すること。また、承諾は承諾書があるのか、口頭なのか確認してもらいたい。
- 事務局 : 承知した。
- 委員 : 搬入車両のタイヤに廃棄物が付着すると外の道路が汚れる可能性がある。対策は行うのか。
- 事務局 : 洗車場を設置し、退出時に洗輪する。洗車水は汚水であるため、浸出水処理施設で処理する。詳細は次回委員会で示す。
- 委員 : ダンプの直接搬入以外の搬入方法は設備設置費が必要となるのか。
- 事務局 : 設備設置費とメンテナンス費が必要となる。
- 委員 : 搬入車両の台数は何台か。また、どのような車両を想定するのか。
- 事務局 : 現在は焼却灰の搬入車両として 4t ダンプ 2～3 台/日と不燃残渣搬入車両 1 台/日程度を想定している。搬入車両は今後詳細検討を行う。
- 委員 : 現在の日向市最終処分場の搬入車両はどのような車両か。また、都城市の処分場はシュート方式を使用していたと思うが、比較することはできるか。
- 事務局 : 日向市は 10t ダンプを使用している。都城市の搬入方法は確認する。
- 委員 : 貯留構造物をコンクリートピット構造にすることにより想定の工事費は高くなるのか。
- 事務局 : コンクリートピット構造で試算しているため、工事費の増額はない。
- 委員 : 散水用の水はどこからもってくるのか。
- 事務局 : これから検討するが、雨水または地下水の利用を考えている。上水の利用は考えていない。
- 委員 : 15 年間の埋立と埋立完了後 15 年間の維持管理となっているが、30 年間被覆施設を利用するのか。
- 事務局 : 被覆施設の耐久性の観点から今後検討する。被覆施設を撤去後も散水する方法はあるため、考慮して検討する。

(4) 生活環境影響調査 調査計画について

○事務局より【資料 4】に基づき説明。

- 委員 : 調査項目はマニュアルの内容に準じているのか。また、最新のマニュアルによるものか。
- 事務局 : 最新のマニュアルに準じている。

- 委員 : 埋立中の悪臭対策について説明してほしい。
- 事務局 : 生活環境影響調査を行うことで対策が必要かどうかまず調査する。そのうえで、基準を満足しない場合、対策を検討する。
- 委員 : 埋立地内のガス抜き管から出るガスに対して対策は実施するのか。
- 事務局 : 調査結果に応じて対策の有無を検討することになる。他事例から覆土等の実施で問題ない。対策が必要な場合は、ガスを回収して処理することになる。
- 委員 : 建設予定地には3つの沢があるため、3箇所で水質調査を行うべきではないか。
- 事務局 : 水質調査の調査地点は、処理水放流による影響を確認するものであるため、放流地点の上下流をしている。
- 委員 : 搬入道路を伝って田代川側に汚水が流れることはないか。田代川側も水質を確認すべきではないか。
- 事務局 : 埋立地外へ浸出水が流れないようにすることは大前提であり、さらに搬入車両の洗車も行うことから、汚水が田代川に流れることはないと考えている。また、河川水の水質において田代川にも調査地点を設定しているため、田代川の水質も確認する。
- 委員 : 田代川の水質調査地点はより搬入道路の出入り口に近い地点の方がよいのではないか。
- 事務局 : 検討する。

(5) 今後のスケジュールについて

○事務局より【資料5】に基づき説明。

- 事務局 : 令和6年12月に予定していた地域協議会は令和7年1月に変更する。
- 委員 : かわら版の配布や説明会があったが、住民はイメージができていない。イラストなどイメージしやすい資料を住民に配布してほしい。
- 委員 : 一部の地権者から説明がないという声がある。
- 事務局 : 地権者説明は登記を確認して説明している。住民説明資料は作成して配布する。
- 委員 :

(6) その他について

○事務局より説明。

- 事務局 : 来年度以降も同様に委員会を開催することを予定している。本日の委員会は公開としているため、この後の記者発表は行わない。

4. 閉 会

〔了〕